

深田村青年団



概要

設立年 明治41年
団 長 西嶋日出雄（にしじま ひでお）
団 員 数 28名
所 在 地 球磨郡深田村西967-2
主な活動地 球磨郡内

（地域文化活動部門）

深田村青年団は、明治四十一年に組織され、体育大会や武道大会など

を開催する一方、村内の道路改修をはじめ様々な勤労奉仕を続けるなど、
将来村を担う若者の集団として、村民から期待と信頼を得てきた。

戦前、戦後を通して、同青年団は、地域に根ざした青年団活動を行い、

音楽、演劇、美術、郷土芸能など各種の文化活動をはじめ、スポーツや
社会奉仕など幅広い活動を展開している。昭和四十年代半ばからは、村

内各地に残る郷土芸能を習得し、これを公開。特に、昭和六十年には、

これまで一子相伝で継承されてきた庄屋白太鼓踊り（県重要無形民俗文

化財）を習得し、球磨郡青年団協議会主催の文化祭で、この踊りを披露
して優勝。同年、県総合青年祭で優勝し、県代表として出場した全国青

年大会郷土芸能の部においては、優秀賞に輝いた。深田村には、現在六

つの郷土芸能（県重要無形民俗文化財一つ、村指定無形民俗文化財五
つ）が残っており、これらの保存継承について、同青年団の果たしてき

た役割は大きい。

また、平成六年には、全国青年大会演劇の部で優秀賞を受賞。平成七

年には、同大会合唱の部で努力賞を受賞している。その後、練習を積み
重ねた結果、合唱は、平成十一年の同大会で優秀賞を受賞。平成十二年

には、同大会で課題曲「地球の日」を披露、また、声合わせが非常に難
しいとされる無伴奏による自由曲「風」を見事に歌い上げ、最優秀賞の

榮譽に輝いて、後に続く県内の若者に誇りと希望を与えた。

このように、同青年団は、地元を軸足を置いて、地域とともに着実な

活動を行っており、今後ますますの活動が期待されている。

これまでの活動歴

明治四十一年	深田村青年会発足、年中行事の体育大会、武道大会 に加え、勤労奉仕活動を行う
大正十四年	漸次的な団体である旭団が結成され、修養講座や農 事講演会、畜産の奨励、試験田の耕作、品評会等の 企画を行う（昭和四年まで）
昭和二十年	男子青年団数二一六名 女子青年団数一九五名 深田小学校創立百周年記念祭歴史展企画運営
昭和五十二年	全国青年大会（郷土芸能の部）優秀賞受賞 庄屋の 白太鼓踊り
平成六年	全国青年大会（演劇の部）優秀賞受賞
平成七年	全国青年大会（合唱の部）努力賞受賞
平成十一年六月	球磨郡青年団協議会文化祭総合優勝、合唱の部で二 位、民芸品、絵画、彫刻、写真、書道、ボスタ一の 部などで好成績を収める
八月	県総合青年祭（合唱の部）最優秀賞受賞
十一月	全国青年大会（合唱の部）優秀賞受賞
平成十二年七月	球磨郡青年団協議会文化祭総合優勝（運覇）、合唱 の部で二位、意見発表の部で優勝、衣食住の各部の ほか、民芸品、彫刻の部で賞を独占、絵画一位及び 二位、書道も好成績を収める
九月	県総合青年祭（合唱の部）最優秀賞受賞
十一月	全国青年大会（合唱の部）最優秀賞受賞